

(変更2回、最終) 契 約 変 更 の 内 容

契 約 変 更 年 月 日	令和 7 年 9 月 1 1 日
契 約 業 者 名	洋林建設 (株)
契 約 業 者 の 住 所	山口県周南市平和通1丁目26 番地
工 事 の 名 称	徳山下松港徳山地区航路(-14m)浚渫工事(その3)
工 事 場 所	山口県周南市晴海町地先及び開成町地先
工 事 種 別	港湾等しゅんせつ工事
工 事 概 要 (変更した内容)	別添工事数量総括表のとおり
工 期 (自)	令和 7 年 3 月 2 1 日
工 期 (至)	令和 7 年 9 月 1 2 日
変更前の契約金額	2 1 2 , 8 1 0 , 0 4 8 円 (税込み)
変 更 金 額	3 8 , 3 9 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変更後の契約金額	2 5 1 , 2 0 0 , 0 4 8 円 (税込み)
変 更 理 由	別紙変更理由書のとおり

工事数量総括表

工 事 名	徳山下松港徳山地区航路（ - 1 4 m ）浚渫工事（その3）（変更2回）					事業区分	港湾整備
						工事区分	航路
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増 減	摘 要	
航路（ - 1 4 m ） 浚渫工 グラブ浚渫工 グラブ浚渫		m3	18,671	20,014	1,343	(参考数量)純土量+余掘 粘土質土砂 N<10 20,014 m3	
土捨工 土運船運搬工 土運船運搬		m3	18,671	20,014	1,343		
揚土土捨工 空気圧送揚土 揚土補助		m3	18,671	20,014	1,343		
排砂管設備 築堤設置	大型土のう 防砂シート	式 袋 m2	1 0 0	1 730 772	1 730 772		
共通仮設 共通仮設費 回航・えい航費						耐候性	
回航	空気圧送船	式		原契約のとおり			
回航	土運船	式		原契約のとおり			
回航	グラブ浚渫船	式	0	1	1		
えい航	グラブ浚渫船	式	1	0	1	ウィンチ有り	
運搬費 建設機械器具等運搬	泥上掘削機	式	1	1	1		
仮設材等運搬	排砂管等	式	1	1	1		
仮設材等運搬	汚濁防止膜	式	0	1	1		
準備費 事業損失防止施設費				原契約のとおり		ウィンチ有り	
汚濁防止枠		式		原契約のとおり			
汚濁防止膜（処分費）		式	0	1	1		
安全費 標識	標識灯	式	1	1	1		
安全対策	安全監視船	式	1	1	1	原契約のとおり	
安全対策	安全監視船運航管理者	式					

工事数量総括表

工 事 名	徳山下松港徳山地区航路（ - 1 4 m ）浚渫工事（その3）（変更2回）					事業区分	港湾整備
						工事区分	航路
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増 減	摘 要	
水雷・傷害等保険料				原契約のとおり		（起工時） 41,800m2 （竣工時） 41,800m2	
技術管理費							
技術管理		式	0	1	1		
現場環境改善費							
現場環境改善	快適トイレ	式	0	1	1		
測量業務							
水路測量							
水路測量							
測量準備		式	1	1	1		
水深測量	マルチビーム測深	式	0	1	1		
水深測量	マルチビーム測深	式		原契約のとおり			
成果		式	1	1	1		

変 更 理 由 書

1. 工 事 名 徳山下松港徳山地区航路（-14m）浚渫工事（その3）（変更2回）
2. 工 期 令和7年3月21日 ～ 令和7年9月12日
3. 請 負 代 金 額 212,810,048 円
4. 変 更 理 由

本工事は、徳山下松港徳山地区航路（-14m）の浚渫工、土捨工を施工するものであるが、今般、以下の理由により設計図書を変更する必要が生じた。

- 1) 共通仮設（技術管理費）：各種調査の追加
本工事は間接工事費等諸経費動向調査及び施工実態調査（試行的取組（浚渫工）、試行的取組（揚土土捨工）、排砂管設備工）の対象となったため、技術管理費を追加する。
- 2) 共通仮設、測量調査費：ICT浚渫工の追加
ICT浚渫工の費用について協議があり、協議内容について適切と判断されたことから、ICT施工にかかる費用を計上する。
- 3) 土捨工：築堤設置費用の追加
土砂処分場内に設置する築堤の構造等詳細が確定したため、築堤設置に係る費用を計上する。また、現地状況により数量を変更する。
- 4) 共通仮設：回航えい航費・運搬費の変更
グラブ浚渫船について、想定していたグラブ浚渫船が使用できないことが判明したため、基地港を変更する。また、排砂管等及び泥上掘削機の往路計上基地について、想定していた排砂管等及び泥上掘削機が使用できないことが判明したため、基地を変更する。
- 5) 浚渫工、土捨工、共通仮設：浚渫・土捨数量の変更
ICTによる事前の起工測量に伴う数量計算結果により、施工範囲及び施工数量を変更する。
- 6) 共通仮設：安全監視船配置日数の変更
別件工事との浚渫施工日の重複状況より、安全監視船の配置日数を変更する。
- 7) 共通仮設：汚濁防止枠用膜処分費の追加
汚濁防止膜の処分が確認できたため、汚濁防止膜の処分にかかる費用を計上する。

- 8) 共通仮設(現場環境改善費)：快適トイレに係る費用の追加
快適トイレの設置を確認したため、その費用を計上する。
- 9) その他：諸経費検証モデル工事にかかる割増を考慮した現場管理費の適用
「諸経費検証モデル工事」実施要領に定める全ての評価条件の履行を確認できたため、割増を考慮した現場管理費率を適用する。